

橿原市

第5期地域福祉推進計画

概要版

みんなでつくる 健やかで安心して
心豊かに暮らせるまち



令和6(2024)年3月

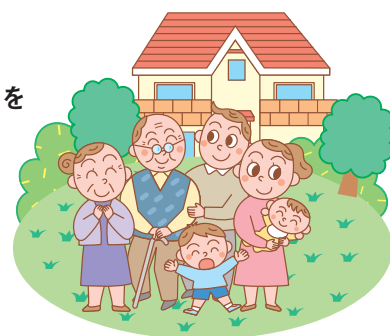
橿原市・橿原市社会福祉協議会・橿原市地域福祉推進連絡協議会

地域福祉推進計画とは

地域には、高齢者や障がいのある人、子育て中の人、生活に困窮している人など、さまざまな人が生活しています。それらの人々が抱える生活課題は、複雑・多様化しており、地域が一丸となり、相互に支え合える地域づくりが求められています。

「地域福祉推進計画」とは、地域共生社会の実現に向けて、「地域」という視点で福祉に関する課題を整理し、住民とともに支援を必要とするさまざまな人の生活を地域で支えていくために策定するものです。本市では、平成16(2004)年の「檀原市第1期地域福祉推進計画」策定以降、行政、社会福祉協議会、地域福祉推進連絡協議会の三者において5年ごとに計画を見直しながら、連携して地域福祉のまちづくりを進めてきました。

本計画は、令和6(2024)年度を初年度として令和10(2028)年度までの5年間で計画期間とし、「自助・互助・共助・公助で地域福祉を進める計画」と位置付け、複雑・多様化する市民や地域の抱える福祉課題に丸ごと対応できるよう、市民をはじめ、地域や各種関係団体等と協働しながら、みんなで助け合い、支え合うことができる環境づくりを進めていくものです。



計画の位置付け

地域福祉推進のための基盤や仕組みをつくる「地域福祉計画」と、それを実行するための「地域福祉活動計画」、地域住民の活動・行動のあり方を定める「地域福祉の活動方針」を一体的に策定します。また、「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に基づく「市町村成年後見制度利用促進基本計画」、「再犯の防止等の推進に関する法律」に基づく「地方再犯防止推進計画」を包含します。

地域福祉推進計画を策定するにあたって

地域福祉推進計画の最大の特徴は、計画そのものが「地域住民の参加で策定する」ことにあるとされています。計画を実効性のある計画とするため、住民参加によるプロセスを重視しながら検討を行いました。

市民アンケート調査

16歳以上の2,000人の方を対象としたアンケート調査を実施

16小学校区地域福祉推進委員会ヒアリング調査

これまでの活動内容を振り返り、「自分たちの地域をどうしたいか」を話し合う場として、ヒアリングを実施

策定委員会・地域福祉推進連絡協議会等における審議

計画についての検討・審議を行い、その結果を計画の策定に反映

パブリックコメントの実施

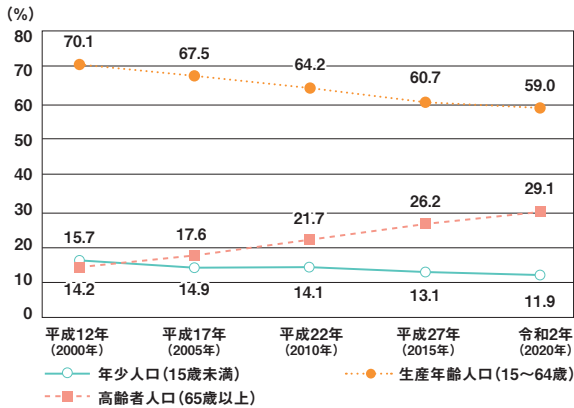
市民から広く意見を得て計画策定を進めることを目的とし、計画素案に対する意見募集を実施

檀原市の地域福祉を取り巻く課題

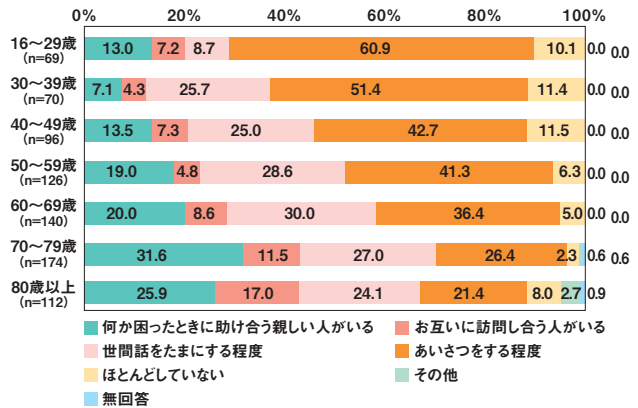
地域との連携の強化・“地域力”の向上

少子高齢化等に伴うひとり暮らし・核家族化の増加により、地域との付き合いが希薄化している現状があります。住民同士や団体同士の連携を強化し、地域力を向上していく必要があります。

年齢3区分人口割合の推移

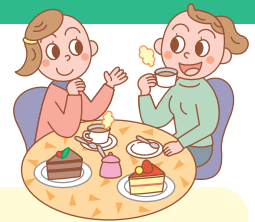


近所づきあいの状況 (アンケート調査より)



担い手の発掘・育成

地域の活動団体やボランティア団体等においても、高齢化に伴い、担い手が減少傾向にあります。定期的に取り組み内容や先進事例などの情報共有、意見交換などができる場を設けるなど、各活動の連携や充実を図っていく必要があります。



みんなが助け合いながら安心して暮らすために大切だと思うこと

第1位	近所同士などの地域のつながりを大切にし、困っている人を見守り、支え合うこと	38.4%
第2位	地域住民の誰もが共に支え合う地域づくり	36.8%
第3位	地域福祉に関する様々な情報提供の充実	34.8%



住民が抱える地域生活課題の多様化

住民の地域生活課題は多様化してきています。身近な地域で世代等を越えた複雑多様な地域生活課題に対応していくことが求められています。

災害や感染症への対策

近年、地震や豪雨などの災害が各地で多発しています。地域における見守り活動を通じ、地域での顔の見える関係づくりを進めていく必要があります。



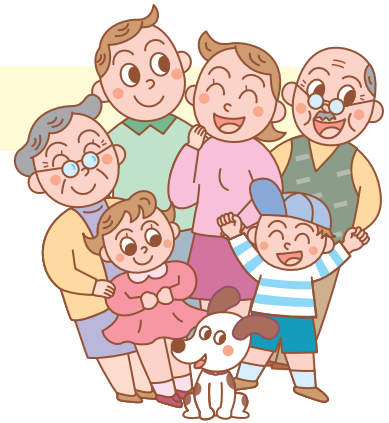
地域で手助けしてほしいこと

第1位	災害時の手助け	62.3%
第2位	安否確認の声かけ	51.3%
第3位	外出の手伝い	40.3%

計画がめざすもの



計画の基本理念



みんなでつくる
健やかで安心して
心豊かに暮らせるまち

地域福祉を推進していくためには、「行政が提供する公的サービスによる支援（公助）」だけでなく、「自分たちでできること（自助）」「住民同士が互いに支え合ったり、みんなで協力し合って、地域でできること（互助・共助）」等を組み合わせた地域づくりが重要です。

第1期計画では、“地域福祉を根付かせる計画”と位置付け、16小学校区すべてに推進委員会を設置しました。

第2期計画では、“地域福祉の裾野を広げる計画”と位置付け、地域住民の参加を得て、活動を広げました。

第3期計画では、“地域福祉を担う次世代との連携計画”と位置付け、これからの橿原市の地域福祉を担う人材確保と育成を進めました。

第4期計画では、“だれもが地域の一員として地域福祉を支える計画”と位置付け、地域の課題を我が事として捉え、地域で支え合う仕組みができるよう、またそれらを受け止める包括的な体制づくりに取り組みました。

第5期計画では、“自助・互助・共助・公助で地域福祉を進める計画”と位置付け、複雑・多様化する市民や地域の抱える福祉課題に丸ごと対応できるよう、市民をはじめ、地域や各種関係団体等と協働しながら、引き続き包括的な支援体制づくりに取り組んでいきます。

複雑・多様化する市民や地域の抱える福祉課題に対応していくためには、公助だけでは対応が困難であることから、第5期計画では、“自助・互助・共助・公助で地域福祉を進める計画”と位置付け、各施策において「みんなの取り組み」（「自分たちでできること（自助）」「地域でできること（互助・共助）」）を設定し、市民をはじめ、関係団体、社会福祉協議会、社会福祉事業者、行政等が一丸となって、地域福祉を推進します。

基本目標1 支え合いの活動が活発なまちづくり

地域の人々が、互いにちょっとした変化・異変に気づき、予防的にかかわることや気軽に「助けて」といえる関係づくりを進めることが大切です。地域住民同士がつながり、課題が深刻化する前に発見し、支え合えるための重層的な地域福祉による支援体制をめざします。

01 地域での見守り・支え合いの充実

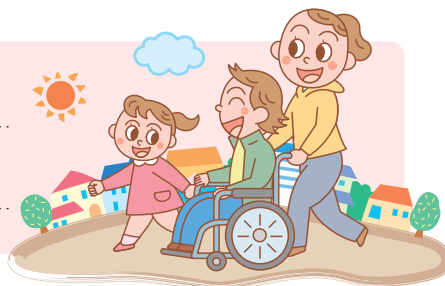
より多くの市民を巻き込み、地域が主体となった見守り活動等の活動を充実させるとともに、生活のしづらさを抱えた人を見守り、早期に課題発見・対応できる体制づくりを推進します。

行政等の取り組み

地域見守りネットワークの拡充、子どもの見守り活動支援、高齢者の見守り活動支援、再犯防止の推進

みんなの取り組み

- 隣近所の声かけや見守り活動によりニーズを見つけ、地域で手助けしましょう。
- 福祉施設やサービス提供事業者は、地域住民に積極的に情報を提供し、理解を深めてもらいましょう。



02 地域福祉活動の場・拠点づくり

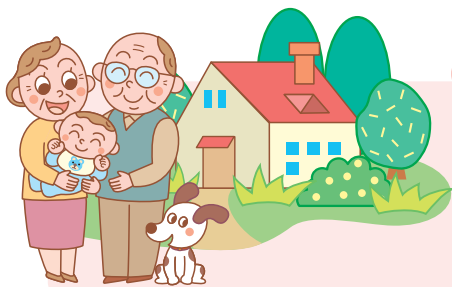
各種団体の活動の活発化に向けて、先進事例についての情報交換や意見交換のできる場・拠点場を拡充します。また、幅広い年代が関わりを持てるような仕組みづくりを進め、活動の充実を図ります。

行政等の取り組み

介護予防の推進、子育て支援の充実、生涯学習活動やスポーツ教室の充実、施設のバリアフリーの推進と既存施設の活用

みんなの取り組み

- 地域の行事に参加して、できるだけ多くの人と顔見知りになりましょう。
- 地域活動団体は、活動内容や状況を積極的にPRして、地域の理解を得られるよう努めましょう。



03 地域活動団体、NPO等の活動促進

新たな地域福祉を担うボランティアの確保・育成が喫緊の課題となっていることから、ボランティアを育成するとともに、ボランティアや団体が活動しやすい環境整備を図ります。

行政等の取り組み

地域福祉推進委員会への活動支援、自治会、民生委員・児童委員や各種団体への活動支援

みんなの取り組み

- ボランティアやNPOの活動に関心を持ちましょう。
- 行政等が開催するボランティア学習の場へ積極的に参加しましょう。
- 各種講座や研修を修了した後は、得た知識等を活動に活かしましょう。



基本目標2 地域福祉の担い手が育つまちづくり

地域福祉の考え方は、すべての住民が福祉の担い手であり、同時に受け手でもあるという、「お互いさま」の精神の上に成り立っています。

学習や地域活動への参加促進をはじめとする取り組みにより、地域福祉の担い手や、活動の中心的な役割を担うリーダーやキーパーソンの育成をめざします。

01 支え合いの心の醸成

子どもの頃から、地域の人と関わりを持ったり、福祉教育を進めることで、支え合い・助け合いの心を育てます。また、地域住民一人ひとりが、さまざまな生活のしづらさを抱える人たちに対する理解を深め、地域で共に暮らせるよう、研修や交流の機会を充実させます。

みんなの取り組み

- 心のユニバーサルデザイン(自分以外の人のことを考えるちょっとした気配り)を実践するように努めましょう。
- 一人ひとりが、福祉の問題を自分自身のこととして捉えましょう。
- 地域の福祉活動に参加し、仲間づくりを進めましょう。

行政等の取り組み

福祉教育の推進、福祉人材の発掘・育成、心のバリアフリー化の推進



02 地域福祉活動に関わるきっかけづくり

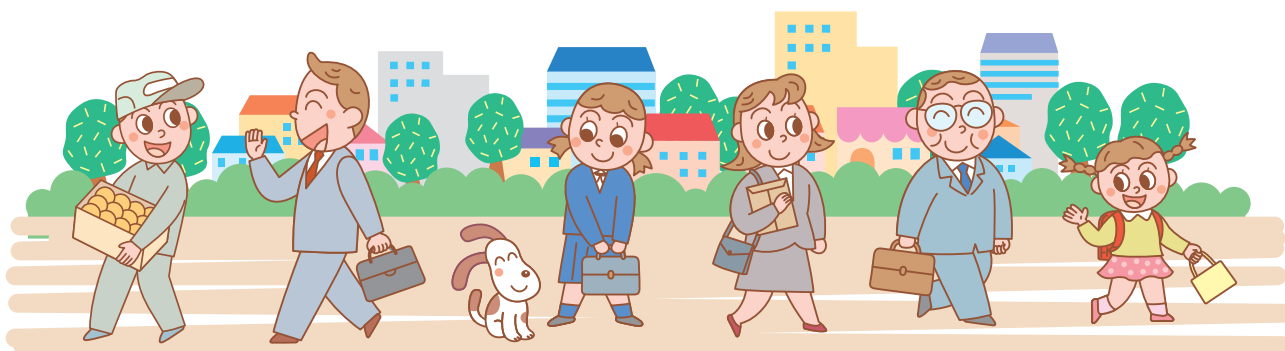
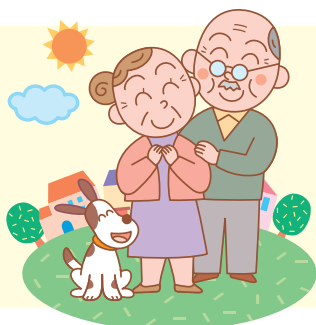
福祉について学ぶきっかけや、地域の福祉活動を知り、福祉に理解を深め行動するきっかけづくりを進めます。また、人と人との交流を通じた住民同士の良好な関係の構築に向けて、地域を知り、福祉活動に参加するように働きかけていきます。

みんなの取り組み

- 自分ができることからボランティア活動をはじめましょう。
- 各種広報やホームページなどを利用して、活動に必要な情報を入手しましょう。
- 地区別懇談会などの地域住民の協議の場に積極的に参加して、地域の生活課題を明らかにしましょう。

行政等の取り組み

地域福祉に関する情報の発信、地域福祉活動への参加促進、市民活動交流広場の活用



基本目標3 安全で安心できるまちづくり

誰もが安全で安心して快適に暮らせる地域環境は、地域福祉の仕組みづくりや取り組みを効果的にすすめていく上での基盤としても、重要な役割を担っています。

弱い立場に置かれがちな人なども安心して暮らせるよう、地域福祉の視点から「福祉でまちづくり」を推進し、安全・安心な地域づくりをめざします。

01 包括的な相談窓口・支援体制の構築

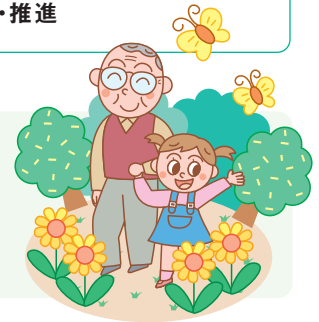
地域住民の抱える課題が複合化・複雑化していることを踏まえ、複数の課題を抱えた人や制度の狭間にいる人の相談にも対応できるような包括的な相談支援体制を目指します。

みんなの取り組み

- 問題を家族・個人だけで抱えこまず、積極的に相談しましょう。
- 支援が必要な人を地域の中で見守り、必要に応じて関係機関へ連絡・相談をしましょう。

行政等の取り組み

重層的支援体制整備事業、生活困窮者等への支援、地域包括ケアシステムの深化・推進



02 福祉サービスの充実

福祉に関する分野別の計画に基づき、地域や事業者等と連携して、高齢者、障がいのある人、子ども・子育て支援に関する事業を推進していきます。また、高齢者や障がい者などへの虐待の防止や、早期発見・早期解決のための啓発、見守りを進めます。

みんなの取り組み

- 日頃から家族や地域でコミュニケーションを図り、問題発生の予防に努めましょう。
- 異変や問題を発見したら、小さなことでも迷わず関係機関に連絡・相談しましょう。

行政等の取り組み

各種福祉サービスの充実、権利擁護の推進



03 地域の防災・減災や防犯体制の充実

平常時より避難行動要支援者を把握し、災害時にはスムーズな安否確認や避難誘導などができるような体制づくりを進めます。また、地域住民の防犯意識を高めるための啓発活動を進めます。

みんなの取り組み

- 自分たちの地域は自分たちで守るという意識を持って、自主防災活動や防災訓練に積極的に参加しましょう。
- 災害に備え、地域内の危険な場所を確認しましょう。
- 避難に心配がある人は、避難行動要支援者名簿への登録を申し出ましょう。

行政等の取り組み

災害時における要配慮者の支援体制の充実、地域の防犯体制の充実



耳成小学校区 愛称:スマイルみみなし会

校区目標 話しあおうよ。みんなしてより透明な活気あるまちづくりへ
～わがまち再発見～

校区の重点取組み

- ☆ふれあいサロン(各町)
- ☆ふれあい交流会
- ☆子どもの登下校の見守り活動



▲ふれあいサロン(体操)

今後の取組み

基本目標 1

- ふれあい交流会やふれあいサロンの継続
- 小地域での居場所づくり活動の推進
- 町ごとのサロンによる情報交換の推進 等

基本目標 2

- 推進委員会の活動について、広報活動の充実
- 担い手づくりに向けた世代間交流の促進 等

基本目標 3

- 子どもの登下校の立哨活動の継続
- 防犯・防災に関する情報収集とイベント等での情報発信 等

耳成西小学校区 愛称:耳成西かがやき会

校区目標 心が通じ合う 安全・安心のまちづくり

校区の重点取組み

- ☆ふれあい交流会
- ☆子どもの登下校の見守り活動
- ☆ミニ交流会



▲ふれあい交流会(園児と交流)

今後の取組み

基本目標 1

- 住民の参加促進に向けた取組み内容の工夫
- ポスターやメール、LINE等を活用した情報発信
- ふれあい交流会の充実、サマルームの継続
- 子どもの登下校の見守り活動の継続 等

基本目標 2

- 地域を知ってもらうための歴史講座の開催
- 広報「かがやき」による情報発信の強化
- 若い世代の参加促進に向けてPTAと連携 等

基本目標 3

- 自治会と連携した防災訓練への参加・協力の検討 等

耳成南小学校区 愛称:耳成南・地域福祉の会

校区目標 耳成の山ふところにいだから
みんなやさしく心豊かなまちづくり

校区の重点取組み

- ☆ふれあい交流会
- ☆ふれあいサロン・ミニサロン
- ☆子どもの登下校の見守り活動



▲ミニサロン(各町)

今後の取組み

基本目標 1

- ふれあい交流会やふれあいサロンの継続
- ミニサロン等の小地域福祉活動の実施
- 各団体による取組みの連携 等

基本目標 2

- 担い手の育成に向けた世代間交流の促進
- 広報紙を活用した情報発信とボランティアの募集 等

基本目標 3

- 子どもの登下校の見守り活動の充実
- 交流の場での防犯に関する啓発の実施
- 防犯パトロールや防犯キャンペーンの継続 等

晩成小学校区 愛称:晩成ふれあい

校区目標 心身共に健康で互いに支えあうまちづくり

校区の重点取組み

- ☆ふれあいサロン
- ☆高校生との世代間交流
- ☆各団体との連携



▲高校生との世代間交流(企画打合せ)

今後の取組み

基本目標 1

- 住民の参加促進に向けた小地域でのイベント等の実施
- 男性や若い人の参加促進に向けた話し合い
- 既存の取組みを活かした世代間交流の実施
- 各種団体との情報交換やお互いを知る機会の創出 等

基本目標 2

- 活動への参加促進に向けた団体や個人への呼びかけ
- 男性や若い人のニーズに沿った取組みの実施
- 広報紙を活用した人材発掘 等

基本目標 3

- 防犯・防災に関する情報収集とイベント等での周知啓発 等

鴨公小学校区 愛称:鴨公まほろば会

校区
目標

古い京(みやこ)に生まれ 未来に広げよう 交流の輪

校区の重点取り組み

- ☆ふれあい交流会
- ☆ふれあいサロン
- ☆子ども教室との世代間交流



▲子ども教室との世代間交流

今後の取り組み

基本目標 1

- ふれあい交流会等の継続、交流活動の定着化
- 既存の活動を見直し、幅広い世代の参加を促進
- PTAや学校との連携強化 等

基本目標 2

- イベント企画段階からの若い人の参加、意見箱の活用
- 効率的・効果的な活動に向けた各種団体との情報共有 等

基本目標 3

- 市出前講座等の活用による防災意識の向上
- 青色防犯パトロールへの支援を継続 等

畝傍東小学校区 愛称:畝傍東ふれあい会

校区
目標

やればできる!!明るい住みよいふれあいのある街づくり
～誰もが大好きなまち畝傍東～

校区の重点取り組み

- ☆クリーンアップ
- ☆世代間交流
(しめなわ作り・中学生)
- ☆ふれあいウォーク



▲しめなわ作り

今後の取り組み

基本目標 1

- 若い世代が参加しやすいイベントで世代間交流を推進
- 幅広い年齢層の参加促進に向けて、興味関心に合ったイベントの企画
- 町ごとのミニサロンやクリーンアップ活動の継続 等

基本目標 2

- 担い手の育成に向けて役員会等で情報交換
- 伝統行事を介した担い手の発掘・育成 等

基本目標 3

- クリーンアップ活動の継続による住民交流の促進
- 防災会や警察との連携による防犯・防災意識の向上 等

香久山小学校区 愛称:香久山和楽路会

校区
目標

思いやる心、豊かな自然 地域を愛し、
楽しく暮らそう“まほろばの里”

校区の重点取り組み

- ☆ふれあいサロン
- ☆世代間交流
- ☆各種団体との連携



▲世代間交流(ふれ愛まつり)

今後の取り組み

基本目標 1

- ふれあいサロンの内容の充実と、送迎手段の検討
- 子どもから高齢者までが参加できるイベントの実施
- イベント企画段階からの各種団体との連携 等

基本目標 2

- 各種団体との連携、情報交換
- 幅広い世代への地域福祉の周知啓発 等

基本目標 3

- 研修会による防犯・防災意識の向上
- 交番や自主防災会との連携、情報収集・発信 等

畝傍南小学校区 愛称:畝傍南ふれあい会

校区
目標

人とふれあい 自然とふれあう
美しい歴史の町をはぐくもう

校区の重点取り組み

- ☆ふれあいサロン
- ☆ふれあいウォーク
- ☆中学生との世代間交流



▲ふれあいサロン(モルupp)

今後の取り組み

基本目標 1

- ふれあいサロンやふれあい交流会の継続
- 世代間交流の促進に向けて子どもが楽しめるイベント等を企画
- PTAや小学校と連携して子どもとの交流を促進 等

基本目標 2

- 若い世代が関われる活動内容や企画の検討
- 住民の趣味や特技を活かせるよう協力を呼びかけ
- 広報紙の発行による情報発信 等

基本目標 3

- 研修会による防犯・防災意識の向上
- ふれあいサロンでの防犯・防災の啓発 等

畝傍北小学校区 愛称:畝傍北ふれあい会

校区目標 老いも若きも 気軽に声をかけあい 明るい住みよい町づくり
～ふるさとのおいがするまちへ～

校区の重点取り組み

- ☆ふれあいサロン
- ☆子どもの登下校の見守り活動
- ☆中学生との世代間交流



▲中学生との世代間交流

今後の取り組み

基本目標 1

- ふれあい交流会・ふれあいウォーキング等の継続
- ふれあいサロンの内容の工夫や啓発
- 小学校・PTAと連携した登下校時の見守り活動
- 小地域での憩いの場、居場所づくり等

基本目標 2

- ふれあい会だよりを活用した地域福祉への意識啓発
- 将来の担い手育成に向けた小中学生との世代間交流等

基本目標 3

- 防犯・防災に関する研修会の実施
- 子どもと立哨活動者を対象とした交通安全教室の検討等

白檀南小学校区 愛称:白檀地域福祉推進委員会

校区目標 未来に育む活力を!
～あした しらかし 美しい街～

校区の重点取り組み

- ☆ふれあい交流会
- ☆ふれあいサロン
- ☆地域のイベントへの協力



▲ふれあい交流会(フォークダンス)

今後の取り組み

基本目標 1

- 緩やかな見守り活動の推進
- 連合自治会を中心とした住民交流活動の実施
- アンケート調査などにより住民の声を取り入れたイベントの検討等

基本目標 2

- 特技や知識を持った人の発掘、参加協力の呼びかけ
- 若い人が継続的に協力・参加できるような体制の検討
- 広報しらかし、連合ニュース、地域福祉だよりによる情報発信等

基本目標 3

- 防犯安全パトロールの推進
- 防災訓練の継続等

白檀北小学校区 愛称:白檀地域福祉推進委員会

校区目標 未来に育む活力を!
～あした しらかし 美しい街～

校区の重点取り組み

- ☆ふれあい交流会
- ☆ふれあいサロン
- ☆地域のイベントへの協力



▲ふれあいサロン(軽スポーツ)

今後の取り組み

基本目標 1

- 緩やかな見守り活動の推進
- 連合自治会を中心とした住民交流活動の実施
- アンケート調査などにより住民の声を取り入れたイベントの検討等

基本目標 2

- 特技や知識を持った人の発掘、参加協力の呼びかけ
- 若い人が継続的に協力・参加できるような体制の検討
- 広報しらかし、連合ニュース、地域福祉だよりによる情報発信等

基本目標 3

- 防犯安全パトロールの推進
- 防災訓練の継続等

今井小学校区 愛称:今井校区地域福祉推進委員会

校区目標 人が元気 心が豊か 癒しある歴史のまち

校区の重点取り組み

- ☆ふれあいサロン
- ☆防災に関する啓発
- ☆お楽しみ交流会



▲防災教室(ウッドストーブづくり)

今後の取り組み

基本目標 1

- ふれあいサロンの継続、住民の交流の場づくり
- 多世代交流に向けて子ども対象のイベントを実施
- 各種団体との連携強化等

基本目標 2

- 人材発掘と担い手育成に向けてボランティアを募集
- 回覧板やSNSを活用して幅広く情報発信等

基本目標 3

- 緩やかな見守り活動の継続
- 防災訓練の継続等

真菅小学校区 愛称:真菅地域福祉推進委員会

校区
目標

ご近所パワーで太いきずなの住みよいまちづくり
～人が優しく、気軽に話せるまちへ～

校区の重点取り組み

- ☆子どもの登下校の見守り活動
- ☆ふれあいイベント(交流会、ウォークなど)
- ☆ふれあいサロン



▲ふれあいイベント(防災運動会 パケツリレー)

今後の取り組み

基本目標 1

- ふれあい交流会等の継続、活動の定着化による地域のつながりづくり
- 学校やPTAと連携した世代間交流や子どもの見守り活動の継続
- 各種団体の情報交換や連携体制強化のための場づくり等

基本目標 2

- 住民の関心を高めるため広報紙を活用した情報発信
- 組織内外での呼びかけによる人材確保
- 若い人の参加促進、幅広い層の人材の募集等

基本目標 3

- 楽しみながら学べる防災運動会等の実施
- 各防災会の情報収集、イベント等での周知啓発等

金橋小学校区 愛称:希望のまち金橋オアシス会

校区
目標

あいさつが響きわたる豊かな支え合いのまちづくり
～夢と希望の新しいまち“金橋”～

校区の重点取り組み

- ☆ふれあい交流会
- ☆バザー&住民発表会
- ☆グリーンキャンペーン



▲ふれあい交流会(交通安全教室)

今後の取り組み

基本目標 1

- 幅広い世代が参加できる交流の場づくりと支え合い・助け合いの関係づくり
- 高齢者の健康のための場づくり
- 各世代が参加できる居場所づくり等

基本目標 2

- 世代を超えた居場所づくりによる若い人の参加促進
- 各種団体の連携強化等

基本目標 3

- 防災訓練・避難所運営訓練の継続
- オアシス運動への参加促進
- 青色防犯パトロールの継続等

真菅北小学校区 愛称:さわやか会

校区
目標

笑顔であいさつ 心つながる夢の郷

校区の重点取り組み

- ☆ふれあい交流会
- ☆ふれあいウォーク
- ☆ふれあいサロン



▲ふれあいウォーク

今後の取り組み

基本目標 1

- 若い世代のイベントへの参加を促進
- 各種団体の地域活動への参加を促進
- 住民の特技を活かしたイベントの開催等

基本目標 2

- 小学校や幼稚園、PTAとの連携強化
- イベント企画段階からの協力体制の構築等

基本目標 3

- 地域で一体的に取り組む多世代の見守り活動
- イベントを活用した防犯・防災等に関する啓発等

新沢小学校区

校区
目標

あいさつで心をつなぐ 豊かなまち“新沢”

校区の重点取り組み

- ☆ふれあいin新沢、健康ウォーク
- ☆ふれあいサロン
- ☆子ども教室、地域学級



▲ふれあいin 新沢(舞台発表会)

今後の取り組み

基本目標 1

- あいさつ運動や声かけ運動の周知・啓発
- ふれあいサロンの継続と内容の工夫による参加促進
- 小学校やこども園と連携した世代間交流等

基本目標 2

- 若い人に参加してもらいやすい活動の検討
- 広報紙でのボランティア募集や団体の推薦による人員の確保
- 各種団体間の交流と連携強化等

基本目標 3

- 青色防犯パトロールの継続
- 各種教室などで防犯・防災に関する意識啓発等

計画の推進体制

市民

地域社会の構成員のひとりであることを自覚することが大切です。声かけやあいさつ、ちょっとした手伝いなど、自分が取り組めることから始め、地域活動へつながる第一歩を踏み出していくことが望まれます。

地域福祉推進委員会

「福祉でまちづくり」を進める目的で小学校区ごとに設けられた住民主体の地域福祉活動組織です。地域での福祉活動の情報交換や調整の場として、今後の取り組みの推進役としての機能が期待されます。

自治会・町内会

地域の防災・防犯活動や住民の親睦を深める交流活動などでは、自治会・町内会の役割が重要です。地域福祉推進委員会とも連携を深めながら、より安全で住みよい、魅力あふれる地域づくりに取り組むことが期待されます。

民生委員・児童委員

「社会福祉に関する活動を行う者」として地域福祉の推進に努めることが望まれます。困難な問題を抱えている人などを早期発見・相談・支援へとつなぐ、より地域に密着した身近な地域福祉の担い手として期待されます。

ボランティア・NPO

地域でさまざまな福祉活動を行っている団体と連携し、活動内容の充実とサービスの多様化を図るとともに、地域の福祉ニーズへの対応を図る活動団体としての役割が望まれます。

福祉施設・福祉関係事業者

多様化する福祉ニーズに対応するため、実施している社会貢献事業のさらなる充実や新しいサービスの創出を図るとともに、地域の一員として地域活動へ参加し、より一層の交流や相互の理解が深まることを望まれます。

社会福祉協議会

地域住民が地域福祉活動に参加しやすいように環境の整備や地域住民の主体的な活動を側面的に支援します。また、専門的な見地からの助言・地域資源の開発やコーディネートなどの役割、地域住民の福祉への関心と参加を高めるための広報・啓発や情報発信に努め、福祉教育の推進や支え合いの心の醸成を図ります。

行政

市民の福祉ニーズを把握し、それに応じたサービスが提供される体制の整備を行います。また、地域福祉活動が活発に行われるよう、普及・啓発や情報提供、支援などの環境整備を行うとともに、サービスと住民などの調整役を担います。関係各所との連携を図りながら、個性豊かな地域づくりの支援を行っていきます。

橿原市役所 福祉部 福祉総務課

〒634-0804
奈良県橿原市内膳町1-1-60
TEL : 0744-46-9002
FAX : 0744-25-7857
MAIL : fukushi@city.kashihara.nara.jp

社会福祉法人 橿原市社会福祉協議会

〒634-0065
奈良県橿原市畝傍町9-1
TEL : 0744-29-3880
FAX : 0744-29-4400
MAIL : ikiiki@kashi-syakyou.or.jp

橿原市 地域福祉 推進連絡協議会

